

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年12月11日

計画の名称	稲美町における雨水の有効利用による水循環の改善（３）（防災・安全）															
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	稲美町															
計画の目標	雨水の有効利用ができる貯留槽を設置することにより、雨水の再利用による流出抑制を図り、健全な水循環系の回復を図る。 下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。															
全体事業費（百万円）		合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		185	A	185	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	R 6 末までに降雨時における総降雨量の266mmの雨水の流出を抑制する。			
	貯留槽の設置個数、浄化槽転用の個数の合計、降雨時における各戸あたりの総降雨量のうち流出抑制となる雨水の量	136mm	214mm	266mm
	貯留槽設置（40件）、浄化槽転用（25件）、合計（65件）、（ 1 基あたりタンク容量0.2m3 / 平均屋根面積106m2 2mm ）（ 65件 × 2mm = 130mm ）			
2	下水道による都市浸水対策達成率を50％（R2）から54％（R6）に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率	50%	50%	54%
	浸水対策済み面積 / 浸水対策を実施すべき面積（317ha）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	稲美町	間接	個人	-	新設	合併浄化槽転用補助金	浄化槽等の改造工事25件	稲美町						2		策定済
	A07-002	下水道	一般	稲美町	間接	個人	-	新設	小型雨水貯留施設設置補助金	小型タンク等の改造工事40件	稲美町						1		策定済
	A07-003	下水道	一般	稲美町	直接	稲美町	管渠（雨水）	新設	効率的な下水道計画の策定	効率的な下水道計画の策定	稲美町						2		-
	A07-004	下水道	一般	稲美町	直接	稲美町	管渠（雨水）	新設	曇川排水区雨水施設（雨水渠）	雨水渠 L=280m	稲美町						180		-
											小計						185		
										合計						185			

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
稲美町において目標の達成状況やその要因を確認し、事後評価を実施。	令和7年11月
	公表の方法
	稲美町ホームページに公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	雨水の再利用による流出を抑制できたことで、健全な水循環の回復を図れた。また、都市浸水対策を実施したことで、安全・安心、快適な暮らしを実現できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も雨水の再利用による流出抑制を図り、健全な水循環の回復を図るとともに、下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	266mm	雨水貯留施設設置助成事業における申請件数減。
	最 終 実績値	20mm	
2			
	最 終 目標値	54%	
	最 終 実績値	54%	

社会資本総合整備計画

計画の名称	稲美町における雨水の有効利用による水循環の改善（3）（防災・安全）		
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度（5年間）	交付対象	稲美町

